(マンスリーレポート 馬生崖技術総合研修センター

軽種馬生産技術総合研修センター Center for Equine Breeding Technology

市場における獣医検査情報の公開 一市場レポジトリーとは —

国内のサラブレッドせり市場で「レポジトリー」 という言葉が使われだして、8年目になったかと 思います。上場される馬の個体情報を集めておく 場所を「レポジトリー(Repository: 貯蔵庫、倉 庫)」と言うのですが、そもそもどのようにして 出来たものなのでしょう。

レポジトリーについて考える前に、「購入前検 査 | (Pre-Purchase Examination)という言葉に ついて説明します。

物を買う時にはカタログを見ただけで決めてし まう場合もあれば、実物を見たり触ったりして、 さらに食べ物でしたら、試食までして購入を決め る事もあります。

サラブレッドを購入する時も、通常は実際の馬 を見て、歩かせたり走らせたりし、場合によって は触れたりもして検討をするでしょう。若いサラ ブレッドの場合は、今現在、腫れや跛行、息づか いの異常のない馬でさえも、競馬にむけて強いト レーニングを実施する事を考えると、心配の種は 尽きません。

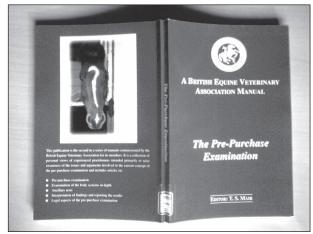
そこで気に入った馬がいたら、獣医師に見ても らう習慣が、諸外国で行われていました。その際 行われる検査を獣医師は「購入前検査」というよ うになり、その方法等を説明した獣医学専門書も 出るようになりました。(写真)

依頼された獣医師は、まず馬を見て目や耳に障 害はないか、健康上の問題はないかから検査を始 めます。歩様の検査は、曳き運動の常歩、速歩ば かりでなく、調馬索と追い鞭を使って駆歩の検査 までもする事もあります。気になる箇所があれば、 馬を触ったり、関節の曲げ伸ばしをしたりして疼 痛や熱感がないかを調べます。運動直後の心音、 呼吸音の聴診も実施します。問題になりそうな箇 所については、出来るだけ詳細な検査を実施する ようになり、レントゲン検査や内視鏡検査までも 実施するようになりました。

そして検査の結果を、依頼主に、競走馬として の将来についてのコメントを加えて報告をし、依 頼者はそれを踏まえて購入の検討をします。

ところで市場レポジトリーの話題に戻ります。 市場で馬を購入する場合にも、この購入前検査を したい人は大勢いるかと思います。米国等では、 高額取引が予想される馬では、上場する事が知ら れると、繋養牧場には多くの購入希望者が集まり、 連日のようにレントゲン撮影や、喉の内視鏡検査 を実施した、といった話を聞いたことがあります。 そこで牧場関係者は、馬への負担や従事者の多忙 を考え、事前にレントゲン撮影や内視鏡検査を済 ませておき、購入希望者にはそれを見せていまし た。一方、市場開設者はその情報(診断書、画像、 動画)を、便宜上、市場の一箇所に集めておくよ うにしたのが、この「レポジトリー」なのだそう です。

そして市場では、情報が提出されていると、上 場者にとっても購買者にとっても、より公正な取 引ができるようにルールを整え、市場の公正さの 水準を高めるようにしています。



英国馬獣医師会編 「購入前検査」 裏表紙の写真の馬の鼻には"?"(サラブレッ ドの将来性は常にクエスチョン)

日本のレポジトリーが始まってから、JBBA や市場開設者では、提出されたレントゲン画像を 集積し、さらには、その後の競馬成績も分析して、 様々な情報が提供できるようになりました。この マンスリーレポートの次回以降は、それらの情報 を示していこうと思います。